

大阪科学・大学記者クラブ 御中

(同時提供先：文部科学記者会、科学記者会)

2024年3月18日

大阪公立大学

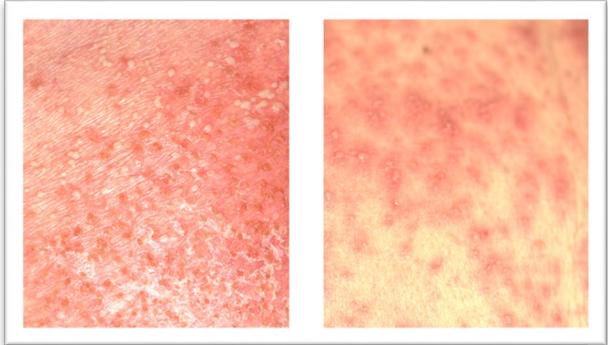
皮膚科医でも間違いやすい 二つの皮膚科疾患を見極める新たな指標を開発

<ポイント>

- ◇悪化すると呼吸不全、循環不全や腎不全を併発する**汎発性膿疱性乾癬**と、見た目の症状が非常に似ている**急性汎発性発疹性膿疱症**を鑑別する診断指標を開発。
- ◇米国の大手総合病院であるメイヨークリニックとの共同研究で、症例数が少ない二つの疾患を見分けるためのスコアリングシステムの開発に成功。
- ◇素早い診断と適切な治療選択へ繋がることが期待。

<概要>

全身の皮膚が赤くなり、膿の塊が皮膚の中にできる**汎発性膿疱性乾癬 (GPP)**は、急性汎発性発疹性膿疱症 (AGEP) と皮膚症状がよく似ており、この二つの疾患の見極めは非常に難しいとされています。適切な治療が行われなければ、重症化し合併症などを引き起こす場合もあります。この二つの疾患は経過や治療法は異なるため、効果的な治療を行う上で、二つの疾患を区別することは重要です。



皮膚症状例 (左) GPP (右) AGEP

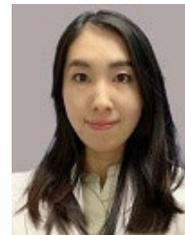
大阪公立大学大学院医学研究科 皮膚病態

学の鶴田 大輔教授、高市 美佳前期研究医と米国の大手総合病院であるメイヨークリニック (Mayo Clinic) の Alavi 教授ら研究グループは、2004 年ごろからの約 20 年間に、大阪公立大学医学部附属病院あるいはメイヨークリニックを受診した GPP 患者 54 例と AGEP 患者 63 例を対象とし、臨床症状・検査所見などのデータを集め、二つの疾患を見分けるためのスコアリングシステムを開発しました。

本研究成果は、これまで臨床現場で医師が鑑別に悩んでいた GPP と AGEP を見分ける際の一助となる可能性があり、素早い診断と適切な治療選択へと繋がることが期待されます。

本研究成果は、2024 年 3 月 14 日、米国の医学雑誌「Journal of the American Academy of Dermatology」にオンライン掲載されました。

膿疱性乾癬 (GPP) と急性汎発性発疹性膿疱症 (AGEP) は症状がとてもよく似ており、臨床現場で診断が難しいと感じることが多いです。いずれも珍しい疾患ですが、私の留学先である Mayo Clinic と共同研究を行うことで、より多くのデータを集めることが可能となり、この二疾患を見分ける診断基準を開発しました。



高市 美佳前期研究医

<研究の背景>

汎発性膿疱性乾癬（GPP）と、急性汎発性発疹性膿疱症（AGEP）は、どちらも全身の皮膚が赤くなり、「膿疱」という膿の塊が皮膚の中にできる病気です。ひどい場合は発熱や全身倦怠感、他の臓器にも障害が及び、重症となることがあります。これらの二つの疾患は見た目がとてもよく似ており、血液検査の所見などでも特徴的な差が無く、見分けることが難しいですが、経過や治療法は異なります。

<研究の内容>

GPP と AGEP を鑑別するための重要な特徴を明らかにするために、本研究グループはアメリカのメイヨークリニックと協力して、約 20 年の間に二つの医療機関を受診した GPP 患者 54 例と AGEP 患者 63 例を対象に、臨床症状・検査所見などのデータを集め、このよく似た二つの病気を見分ける鍵となる症状の探知に取り組みました。その結果、GPP 患者では、関節痛、乾癬または関節炎の病歴、乾癬様の皮疹などの症状が多かったのに対し、AGEP 患者では、薬剤アレルギーの病歴、下肢の内出血などの症状がより多くみられました。これらの臨床的特徴は、GPP と AGEP 患者を判別するための診断指標になると考えた本研究グループは、これら診断指標を用いて GPP と AGEP を見分けるための GPP/AGEP スコアリングシステムを開発しました。さらに本システムの予測性を評価したところ、感度（0.85）と特異度（1.0）がともに高く、本システムが高い判別性能を持つことを証明しました。

<期待される効果・今後の展開>

この研究成果は、臨床現場で医師が GPP と AGEP を見分ける際の一助となる可能性があり、素早い診断と適切な治療選択に繋がることが期待されます。今後は臨床医が二つの疾患を鑑別するために実用的に使用できる診断指標の確立を目指します。本研究は過去のデータを解析する後ろ向き研究でしたが、スコアリングシステムの実用化のため、現在から未来に向かってデータを集める前向き試験にてさらに検証を進める予定です。

<掲載誌情報>

【発表雑誌】 Journal of the American Academy of Dermatology

【論文名】 Differentiating Generalized Pustular Psoriasis from Acute Generalized Exanthematous Pustulosis

【著者】 Mika Yamanaka-Takaichi, Miki Watanabe, Nneka I. Comfere, Olayemi Sokumbi, Christeebella O. Akpala, Austin Todd, Emily L. Branch, Aaron R. Mangold, Sho Hiroyasu, Daisuke Tsuruta and Afsaneh Alavi

【掲載 URL】 <https://doi.org/10.1016/j.jaad.2024.01.080>

【研究内容に関する問い合わせ先】

大阪公立大学大学院 医学研究科
前期研究医：高市 美佳（たかいち みか）
TEL：06-6645-3826
E-mail：v21435l@omu.ac.jp

【報道に関する問い合わせ先】

大阪公立大学 広報課
担当：國田（くにだ）
TEL：06-6605-3411
E-mail：koho-list@ml.omu.ac.jp